

研究課題

「股関節筋力評価法の確立と筋力がADLに及ぼす影響についての検討」

1. 実施期間：

2019年12月31日まで

2. 研究機関：

大阪大学医学部附属病院器官制御外科学講座（整形外科）

大阪大学医学部附属病院リハビリテーション部

3. 目的：

本院では、股関節疾患に対して人工股関節全置換術や骨切り術などの手術が行われています。手術後は歩くことや階段などの日常生活動作の改善を図り、社会への早期復帰を目標としたリハビリテーションを行います。このリハビリテーションでは、股関節の筋力強化が重要であり、様々なトレーニング方法を実施しております。今回は、手術前後での股関節筋力の変化と、股関節筋力が日常生活動作に及ぼす影響について検討することを目的としております。

4. 方法：

筋力検査計を用いた股関節筋力検査を行います（下写真）。検査時間は20～30分で、測定時の服装については、動きやすいスポーツウェアをご用意しております。



5. 意義

今回の結果をもとに、より効果的な股関節筋力トレーニング方法の開発が期待されます。

6. 個人情報保護

この研究で得られた結果は、学会や医学雑誌に公表されることがあります。その場合、被験者の方の個人情報は外部からは特定できないよう厳重に管理します。なお、検査結果については、本院以外の機関に提供することはありません。

7. 問い合わせ先

大阪大学医学部附属病院リハビリテーション部

担当者：高木 啓至

連絡先：06-6879-5860